

平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年2月13日

上場会社名 オーウイル株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3143 URL http://www.owill.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 小口 英器
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理副本部長 (氏名) 青柳 あゆみ TEL 03 (5772) 4488
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	23,793	8.8	402	42.0	401	40.2	271	46.6
29年3月期第3四半期	21,862	△0.6	283	22.9	286	19.3	184	34.7

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 304百万円 (12.1%) 29年3月期第3四半期 271百万円 (49.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	86.05	—
29年3月期第3四半期	58.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	11,645	2,333	19.6	724.72
29年3月期	8,709	2,123	23.8	658.35

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 2,282百万円 29年3月期 2,073百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	—	—	30.00	30.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	33.00	33.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

配当予想の修正については、本日（平成30年2月13日）公表いたしました「配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	6.7	430	31.7	430	29.8	280	38.2	88.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	3,150,000株	29年3月期	3,150,000株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	211株	29年3月期	211株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	3,149,789株	29年3月期3Q	3,149,789株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の不確実性や個人消費の動向など景気の先行きは不透明な状況が続いているものの、企業収益や雇用環境の改善傾向を背景に、緩やかな景気回復の動きが見られました。

食品飲料業界におきましては、少子高齢化による消費スタイルの多様化や消費者の健康管理を訴求する新商品開発が活発化しております。また、食の安心・安全に対する消費者の社会的関心は引き続き高く、品質管理体制のより一層の強化が求められているなど、事業環境は厳しい状況が続いております。

このような状況下、当社グループは「お客様に十分ご満足のゆく商品・サービスの提供」を品質方針として、安心かつ安定的な原材料・資材の供給体制を維持・強化し、サービスの質の向上に努めるとともに、付加価値の高い商品の提案を積極的に行い、取扱品目の増加及び取引先の拡大に努めてまいりました。香料やエキスなどの食品副原料の販売数量が減少したものの、乳及び乳製品、茶類や果汁等の農産物同加工品の販売数量が増加したことなどにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は23,793,841千円（前年同期比8.8%増）となりました。販売活動にともなう諸経費などの販売管理費は増加しましたが、前年同期に比べ売上総利益が増加したことから、営業利益は402,422千円（前年同期比42.0%増）、経常利益は401,187千円（前年同期比40.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は271,032千円（前年同期比46.6%増）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

<卸売事業>

飲料市場においては、飲料メーカー各社、多様化した消費者ニーズに応えるため、重点ブランドの強化や新たな付加価値を備えた商品の開発を推し進めておりますが、天候の影響や各社の激しい販売競争により厳しい経営環境が続いております。

このような状況下、当社グループは取引先の多様なニーズに対応すべく、国内外から安全で安心な原材料・資材を確保し、安定供給体制の維持に努め、取引先の拡大と利益率改善を図ってまいりました。香料や乳化剤などの食品副原料や粉乳調整品などの乳製品の販売数量が減少したものの、業務用殺菌乳の販売数量が増加し、ウーロン茶やジャスミン茶などの茶類や野菜飲料の原料である果汁などの農産物同加工品の販売が好調に推移いたしました。

この結果、売上高は23,178,472千円（前年同期比8.9%増）となりました。

<製造販売事業>

美味しさと素材にこだわった高品質で体にやさしいアイスクリームの開発に注力し、製造技術の向上、品質管理の強化に努め、取引先のニーズに合った商品を提供してまいりました。個食用カップアイスの販売が増加したものの、業務用バルクアイスの販売数量が減少し低調に推移いたしました。

この結果、売上高は517,479千円（前年同期比10.1%減）となりました。

<その他>

その他においては、F C事業がありますが、東京大手町地区にてコンビニエンスストアを4店舗経営しております。同地区の就労人口の変動による影響があるものの、S Q Cの向上や店舗運営の効率化に努めております。

この結果、売上高は595,951千円（前年同期比0.9%増）となりました。

(注) セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ2,883,762千円増加し、10,388,500千円となりました。主な要因は、現金及び預金、受取手形及び売掛金の増加によるものであります。また、当第3四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べ52,220千円増加し、1,256,705千円となりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて2,935,982千円増加し、11,645,205千円となりました。

② 負債の状況

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べ2,633,871千円増加し、7,890,601千円となりました。主な要因は、買掛金の増加によるものであります。また、当第3四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べ91,848千円増加し、1,421,011千円となりました。主な要因は、長期借入金の増加によるものであります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ2,725,720千円増加し、9,311,613千円となりました。

③ 純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ210,262千円増加し、2,333,592千円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成29年11月13日に発表いたしました数値と変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,735,586	2,251,466
受取手形及び売掛金	3,883,846	5,650,227
商品及び製品	1,146,967	1,668,125
未着商品	394,392	304,279
原材料及び貯蔵品	25,363	26,770
未収入金	253,124	263,703
繰延税金資産	22,605	22,643
その他	47,150	207,483
貸倒引当金	△4,300	△6,200
流動資産合計	7,504,737	10,388,500
固定資産		
有形固定資産	387,786	414,713
無形固定資産	53,596	32,285
投資その他の資産	763,101	809,706
固定資産合計	1,204,484	1,256,705
資産合計	8,709,222	11,645,205
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,812,716	6,253,213
1年内返済予定の長期借入金	747,692	767,208
未払金	540,761	492,990
未払法人税等	59,183	85,438
賞与引当金	35,778	24,000
その他	60,596	267,749
流動負債合計	5,256,729	7,890,601
固定負債		
長期借入金	1,194,168	1,269,256
資産除去債務	4,435	4,493
その他	130,558	147,261
固定負債合計	1,329,163	1,421,011
負債合計	6,585,893	9,311,613
純資産の部		
株主資本		
資本金	363,387	363,387
資本剰余金	292,475	292,475
利益剰余金	1,213,265	1,389,804
自己株式	△129	△129
株主資本合計	1,868,998	2,045,537
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	165,622	198,360
繰延ヘッジ損益	3,244	1,214
為替換算調整勘定	35,790	37,610
その他の包括利益累計額合計	204,656	237,185
非支配株主持分	49,674	50,869
純資産合計	2,123,329	2,333,592
負債純資産合計	8,709,222	11,645,205

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	21,862,260	23,793,841
売上原価	19,947,497	21,670,091
売上総利益	1,914,763	2,123,750
販売費及び一般管理費	1,631,313	1,721,327
営業利益	283,449	402,422
営業外収益		
受取配当金	5,594	5,747
為替差益	1,065	347
受取手数料	4,833	4,833
受取補償金	2,559	3,739
その他	816	771
営業外収益合計	14,868	15,440
営業外費用		
支払利息	7,198	7,531
支払補償費	3,800	4,172
その他	1,213	4,971
営業外費用合計	12,211	16,675
経常利益	286,106	401,187
税金等調整前四半期純利益	286,106	401,187
法人税、住民税及び事業税	79,506	129,867
法人税等調整額	13,594	△520
法人税等合計	93,100	129,347
四半期純利益	193,005	271,840
非支配株主に帰属する四半期純利益	8,092	807
親会社株主に帰属する四半期純利益	184,913	271,032

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	193,005	271,840
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	37,655	32,738
繰延ヘッジ損益	31,170	△2,030
為替換算調整勘定	10,132	2,208
その他の包括利益合計	78,958	32,916
四半期包括利益	271,964	304,756
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	266,789	303,561
非支配株主に係る四半期包括利益	5,174	1,195

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	卸売事業	製造販売 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	21,125,590	145,939	21,271,530	590,730	21,862,260	—	21,862,260
セグメント間の内部 売上高又は振替高	156,798	429,907	586,705	—	586,705	△586,705	—
計	21,282,388	575,847	21,858,235	590,730	22,448,966	△586,705	21,862,260
セグメント利益	256,932	22,013	278,945	2,970	281,915	1,533	283,449

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンビニエンスストア小売業を営んでおります。

2. セグメント利益の調整額1,533千円は、セグメント間取引消去1,533千円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	卸売事業	製造販売 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	23,041,886	156,003	23,197,890	595,951	23,793,841	—	23,793,841
セグメント間の内部 売上高又は振替高	136,586	361,475	498,062	—	498,062	△498,062	—
計	23,178,472	517,479	23,695,952	595,951	24,291,903	△498,062	23,793,841
セグメント利益	399,058	704	399,763	3,776	403,539	△1,116	402,422

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンビニエンスストア小売業を営んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,116千円は、セグメント間取引消去△1,116千円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。